

# 「西浦田楽」の演目映像デジタルアーカイブ化に向けた メタデータの検討

彦坂 和里（静岡大学創造科学技術大学院／目白大学）

杉山 岳弘（静岡大学）

本研究では、国指定重要無形民俗文化財「西浦の田楽」を保存し継承を支援することを目的とする。そのために、祭り関係者が代々継承してきた「教え」（継承される知識全般）を、映像デジタルアーカイブ化することを目指し研究を進めてきている。本稿では、これまでの調査で収集してきた演目に関する「教え」をもとに演目の知識構造を記述し、それをもとに演目のメタデータを検討する。

## Investigation of Metadata Using Video-based Digital Archive for the Program of “Nishiure Dengaku”

Airi HIKOSAKA (Graduate School of Science and Technology, Shizuoka University／Mejiro University)

Takahiro SUGIYAMA (Shizuoka University)

“Nishiure Dengaku” is an important intangible folk cultural asset. The objective of this study is to establish the video-based digital archive of the “Oshie” which is the knowledge included devotion inherited from the predecessor. In this paper, we describe the knowledge structure of “teaching” related to the performances collected in the previous surveys by category, and examine the metadata of the performances based on that.

### 1. はじめに

本研究は国指定重要無形民俗文化財の第1号である「西浦の田楽」を研究対象とする。西浦田楽とは、静岡県浜松市天竜区水窪町の西浦地区で約1300年間、毎年旧暦1月18日の月の出から翌19日の日の出にかけて開催されている民俗芸能である。西浦田楽で奉納される演目は全部で47演目ある。地能とはね能の2種類に大別され、地能33演目、はね能12演目、どちらにも該当しない番外2演目からなる。

この田楽では、別当（祭主）および能衆（舞い手等を行う者）を担う各家での口伝による世襲により、日本中世の舞の姿をほぼ変えずに継承している。その文化的価値は非常に貴重で、今後も継承していくべき地域文化である。しかし、地域の過疎化や少子高齢化により、能衆家が24戸から14戸まで減り、失伝の危機にある。

本研究では、西浦田楽で継承される「教え」（別当や能衆が世代間で継承する知識全般）を正確に記録し、継承を支援することを目的とし、西浦田楽の映像デジタルアーカイブを構築することを目指している。そのために、これまでに文献調査により「教え」を収集し、現役の能衆への聞き取り調査を通して3つの年代の文献間で見られる内容の差異の正誤等を明らかにしてきた[1,2]。

本稿では、これまでに収集した「教え」をもとに演目の知識構造を記述し、演目のメタデータを検討する。具体的には、地能16番「水な口」を対象に記述を試み、それをもとに演目をデジタル

アーカイブ上で表現するのに必要なメタデータを検討する。

### 2. 演目映像デジタルアーカイブの概要

本研究で構築を目指す演目映像デジタルアーカイブについて述べる。

本研究で構築するデジタルアーカイブは、昭和初期以降の各年代の西浦田楽に関する「教え」を関連付けることで、各年代における西浦田楽の全体像がどのようなものであったかを視覚的に確認できるようにするものである。なお、昭和初期以降としているのは、西浦田楽が民俗学研究者らから注目を浴び、調査が行われるようになったのが昭和初期頃であり、数々の文献から当時の様子のある程度窺い知ることができるためである。

そのようなデジタルアーカイブとするために、単に当代の別当・能衆のある年の情報をアーカイブ化するだけでなく、同じ別当・能衆の別の年の時点での情報や別の代の情報も記録・参照できるようにする[1]。具体的には、各演目の流れに沿って各年代の「教え」を確認できるようにするため、演目の所作の分節をベースに、その所作に関する情報や演目全体に関する情報、その所作の部分に関する映像を年代ごとに比較しながら参照できるようにすることを目指す[2]。年代ごとの比較については、西尾（2016）[3]を参考に、マスターデータとなる年のデータを設定し、差分を記録・参照できるようにすることを目指す。

本研究で映像を用いるのは、『無形民俗文化財映像記録作成の手引き』[4]にて述べられているよ

うに、能衆らの一連の動きに加え、囃子や詞章等の音声、周りの観衆らの様子をも残していくためである。

映像ファイルを扱うデジタルアーカイブの構築にあたっては、他のファイルを扱うデジタルアーカイブと同様、既存のメタデータ語彙を参考にメタデータ設計を行い構築している事例が見られる。例えば、国立国会図書館東日本大震災アーカイブ（通称ひなぎく）は、国立国会図書館ダブリンコアメタデータ記述（DC-NDL）をベースに、既存の国際標準のメタデータ語彙を利用するほか、既存の語彙を拡張し独自に定義して利用している[5]。

文化財に関するメタデータ記述に関しては、ミュージアム資料情報構造化モデル[6]や博物館資料情報のための国際標準 CIDOC 情報カテゴリ（IGMOI）[7]等がある。いずれも有形の文化財等を記述するための定義がされており、民俗芸能において用いられる道具等の記述が可能であると考える。しかし、民俗芸能における一連の所作は無形のものである。こうしたメタデータは定義がされていないのが現状である。本研究では単に開催日等を記録・保存するだけでなく、こうした無形の所作やその知識を保存可能なデジタルアーカイブの構築を目指している。そのため、既存のメタデータ語彙では不十分であり、先述の国立国会図書館東日本大震災アーカイブのように既存の語彙の拡張を検討していく必要があると考える。西浦田楽の演目をメタデータを用いて表現するにあたり、まずは演目の知識構造がどのようになっているかを検討する必要がある。

### 3. 演目の知識構造の記述

これまでに収集してきた「教え」を年代ごとに記録・参照できるデジタルアーカイブを構築するため、構築に必要な演目のメタデータを検討していく。

#### （1）形の知識構造の枠組み

そのために、まずは収集した演目の「教え」がどのような構造を持つのかを明らかにする必要があると考える。演目の知識構造を明らかにするために、収集した「教え」を特徴ごとに分けて記述する。その記述には、筆者がこれまでに作成した形（かた）の知識構造の枠組みを用いる。これは、中学校体育において「日本剣道形（以下、剣道形）」の教育環境を構築するために、剣道形の知識を体系的に記述するために作成したものである[1]。

形の知識構造の枠組みでは、形の知識構造を以下の4層に分けている[1]。

#### ①「身体的知識」の層

この層は実際の身体動作に関する知識の層である。所作の流れや各所作のポイントは、いずれも頭で理解するだけでなく、実際に体を動かしてこそ習得できる身体的な知識である。この層では、

所作の流れは「流れ」、所作のポイントはその所作を構成する特徴であると考え、「特徴」として記述する。

#### ②「論理的知識」の層

この層は所作を行う意味に関する知識の層である。所作を行う意味は、形の所作と精神性の関連性を論理的に説明する上で重要な知識にあたるかと考える。

#### ③「意義的知識」の層

この層は所作の背景に潜む考え方に関する知識の層である。所作の背景に潜む考え方は、「論理的知識」の層と同様に形の所作と精神性の関連性を論理的に説明し、その所作を正しく行う上で、重要な知識にあたるかと考える。

#### ④「心的知識」の層

この層は各形で示されている教義に関する知識の層である。一つの形を通してどのような先人たちの教義が表現されているかを記述する。

剣道形も西浦田楽の演目も、所作とそこに内包される精神あるいは信仰との結びつきが強い点で類似しており、同様に記述できる可能性があると考え、演目の「教え」の記述に応用する。

#### （2）演目の知識構造の記述

本稿では、47演目のうち地能16番「水な口」を記述対象とする。「水な口」を対象とするのは、文献調査による「教え」の収集、および能衆への聞き取り調査を通して収集した「教え」の正誤の確認が済んでいるためである[2]。

2018年度の開催時に撮影した映像をもとに、「水な口」の所作を分節ごとに分け、収集した「教え」を形の知識構造の枠組みに当てはめて3つの年代ごとに記述する。この記述を行ってみたいところ、現在までに収集できた「教え」では、剣道形のように上位・下位の関係を持たせて知識同士を関連付けて「層」として記述することは難しいことがわかった。そのため、「層」に類する語で、演目の知識構造を表現するのに適した言葉を検討する。「層」や「階層」のほか、「カテゴリ」等何かしらのまとまりを表す言葉の類語とその意味を精査した結果、本稿では、演目が内包する知識をその特徴ごとに分ける概念を「Aspect」と定義する。本稿でいう Aspect はある見知から見た相を指し、「教え」を4つの相（身体的知識相、論理的知識相、意義的知識相、心的知識相）に分類して記述する。

これに基づき「水な口」を3つの年代ごとに記述した結果を本稿末尾の図1～3に示す。古い年代であるほど文献の記述が曖昧であること等から「教え」に抜けがあり、今後能衆らへのさらなる聞き取り調査等が必要である。また、分節の区切り方が所作の意味区分的に適切かどうかについて能衆への確認がとれていないため、調査が必要である。

#### 4. 演目のメタデータの検討

次に、既存のメタデータ語彙と「水な口」に関する「教え」の記述結果もとに、演目のメタデータを検討する。

なお、映像ファイル自体のメタデータについては、Dublin Core[8]で定義される既存のメタデータ語彙を用いることとする。検討結果を本稿末尾の表1に示す。

演目のメタデータについては、演目の名称等は共通語彙基盤[9]等で定義される既存のメタデータ語彙で表現することができると考えられるが、身体的知識等はその内容が単なる説明文等とは異なる深さの情報であるため、既存のメタデータ語彙に当てはめて正確に記述することは難しいと考える。そこで、既存のメタデータ語彙で表現できない部分は独自のものを追加することとする。また、記述結果のほかに、継承の観点から記録することが望ましいと想定される情報、文献調査において情報の誤りが見られた箇所を補足する情報も必要であると考え、それらも既存のメタデータを使用、もしくは独自のものを追加する。今回の検討結果を本稿末尾の表2に示す。

今回検討したメタデータおよび設計手法について考察する。

【活用について】現在の設計では独自に定義したメタデータが多いため、外部のデータベースとの連携が難しい。オントロジーを用いて既存のメタデータ語彙に当てはめる等、再検討の余地があると考えられる。

【知識の保存・継承について】演目に関する知識構造を記述した上でメタデータを設計していることから、演目をメタデータで表現できていると考える。ただし、所作の区切り方等について、まだ能衆らへの調査が完了していないため、今後検証が必要である。

【設計手法について】今回、形の知識構造の枠組みをもとに演目の「教え」を4つの相に分類して記述した上でメタデータの設計を検討した。現段階では、特に古い年代の「教え」が不足しており、今後さらに「教え」を収集していく中で、新たに必要となるメタデータが出てくる可能性がある。十分に知識が集まっている場合に、この設計方法が有用であるかを検証することが今後の課題である。

#### 5. まとめ

本研究では、国指定重要無形民俗文化財「西浦の田楽」を保存し継承を支援するため、別当および能衆が継承している「教え」の映像デジタルアーカイブを構築することを目指している。

本稿では、これまでに収集した「水な口」に関する「教え」を、形の知識構造の枠組みを用いて相ごとに記述し、それをもとに演目のメタデータ

を検討した。今後、検討したメタデータをもとに演目映像デジタルアーカイブの詳細設計を検討していく。

#### 謝辞

本研究はJSPS 科研費 JP 19K20633, 19K12712の助成を受けたものである。

#### 参考文献

- [1] 彦坂和里,杉山岳弘,“「西浦の田楽」で継承される「教え」の映像デジタルアーカイブの構想”,第23回公開シンポジウム「人文科学とデータベース」発表論文集,pp.3-8,2018.
- [2] 彦坂和里,杉山岳弘,“「西浦田楽」の演目映像デジタルアーカイブ化に向けた検討～演目に関する複数年代の文献調査から見える課題～”,第24回シンポジウム「人文科学とコンピュータ」発表論文集,pp.9-15,2019.
- [3] 西尾美沙季,杉山岳弘,“無形民俗文化財「祭り」の保存と継承に必要な情報とその変遷をアーカイブ化するための記述方法の検討”,情報処理学会第78回全国大会,4ZB-05,2016.
- [4] 東京文化財研究所無形文化遺産部編,“無形民俗文化財映像記録作成の手引き”,2008.
- [5] 白石啓,“国立国会図書館東日本大震災アーカイブ(ひなぎく)におけるメタデータ設計と運用”,TP&Dフォーラムシリーズ:整理技術・情報管理等研究論集,23,pp.3-26,2014.
- [6] ミュージアム情報構造化モデル  
<https://webarchives.tnm.jp/docs/informatics/smm/oi/> (参照日:2019年10月25日)
- [7] CIDOC - International Guidelines for Museum Object Information: The CIDOC Information Categories  
[http://network.icom.museum/fileadmin/user\\_upload/minisites/cidoc/DocStandards/guidelines1995.pdf](http://network.icom.museum/fileadmin/user_upload/minisites/cidoc/DocStandards/guidelines1995.pdf) (参照日:2019年10月25日)
- [8] Dublin Core <https://www.dublincore.org/>  
(参照日:2019年10月28日)
- [9] IMI - 共通語彙基盤 <https://imi.go.jp/goi/>  
(参照日:2019年8月25日)

| 身体的知識相   |    | 論理的知識相   | 意義的知識相  | 心的知識相 |
|--|----|--|---|-------|
| 流れ   | 特徴 |  |   |       |
| <p>禰宜役がござおりを右肩に担いだ状態で舞庭の中央の太鼓に腰掛ける。</p>                        |    | <p>禰宜役の服装は水干、烏帽子、ござおり。【早川,花祭 後編,1930】</p> <p>盗人役の服装は水干、烏帽子。【早川,花祭 後編,1930】</p> |   |       |
| (途中省略)   |    |  |   |       |
| <p>盗人役が禰宜役の烏帽子をそっと奪ってみる。</p>                                   |    |  |   |       |
| (途中省略)   |    |  |   |       |
| <p>盗人役が「昔の禰宜は幣帛を持つ 俺は之を持つ 今上々々」と言いつつ、幣帛の中の米を故意にこぼしながら引っ込む。</p> |    | <p>「さんぐ盗み」とも言う。【早川,花祭 後編,1930】</p>   | <p>米を見物が争って拾い、家に持ち帰って飯に混ぜて炊く風習がある。【早川,花祭 後編,1930】</p> |       |

図 1 地能「水な口」に関する「教え」の知識構造の記述結果(1930年代,一部抜粋)

| 身体的知識相   |    | 論理的知識相  | 意義的知識相 | 心的知識相 |
|--|----|---|--------|-------|
| 流れ   | 特徴 |   |        |       |
| <p>禰宜役がござおりを右肩に担いだ状態で太鼓に座り、詞章を唱える。</p>                                 |    | <p>禰宜役はわけ地。禰宜役の服装は烏帽子を鉢巻なしに目深にかぶり、上布を肩にかける。右肩にござおりの途中に散米を紙に包んだものを担ぐ。【山路,遠州西浦の田楽-民俗芸能資料,民俗文化研究所紀要,1集,pp.5-101,1964】</p> <p>座る方角は明きの方である。【山路,遠州西浦の田楽-民俗芸能資料,民俗文化研究所紀要,1集,pp.5-101,1964】</p> |        |       |
| (途中省略)   |    |   |        |       |
| <p>七打目に盗人役が禰宜役の烏帽子を盗り、早足で後る歩きで戻る。</p>                                  |    |   |        |       |
| (途中省略)   |    |   |        |       |
| <p>七打目に盗人役が「今の禰宜はさいはいをもって きんじょう／＼ おれはこれをもってきんじょう／＼」と唱え、早足で後る歩きで戻る。</p> |    |   |        |       |

図 2 地能「水な口」に関する「教え」の知識構造の記述結果(1960年代,一部抜粋)

| 身体的知識相  |   | 特徴   | 論理的知識相  | 意義的知識相  | 心的知識相  |  |
|---|---|--|---|---|--|--|
| 流れ  |   |  |   |   |  |  |
|  | 禰宜役がゴザオリを右肩に担いだ状態で太鼓に座り、詞章を唱える。                                 |  | 禰宜役は島地 [吉川,西浦田楽の民俗文化論,2012]<br>禰宜役の服装は、烏帽子、水干、ゴザオリ [吉川,西浦田楽の民俗文化論,2012]<br>ゴザオリには、散米が紙に包んでつけられている。 [吉川,西浦田楽の民俗文化論,2012] | 水な口は水の神を表す [国指定重要無形民俗文化財 西浦の田楽 鑑賞の手引,1989]  | 麦つき〜君の舞までは豊作祈願の田遊びで、水な口は田の水口をまつる演目 [国立劇場 第133回民俗芸能公演 春むかえ 田峯と西浦の田楽,2019] |  |
| (途中省略)  |   |  |   |   |  |  |
|  | 盗人役が禰宜役の烏帽子を奪い取り、早足で後ろ歩きで戻る。太鼓が連打される。                           | 早川 [1928]、山路 [1964] では水干、烏帽子、ゴザオリの順に盗むとあるが、それは誤りである。 [2019/2/3上組能頭守屋治次氏インタビュー] |   |   |  |  |
| (途中省略)  |   |  |   |   |  |  |
|  | 盗人役が「今の禰宜はさいはいをもってきんじょう／＼、おれはこれをもってきんじょう／＼」と、散米をこぼしながら言い、幕屋へ戻る。 |  |   | 盗人役がこぼした散米を村人が拾って持ち帰り、飯に混ぜて炊く習慣があったといわれるが、今は村人が境内にほとんどいないため拾う者はいない。 [吉川,西浦田楽の民俗文化論,2012]<br>かつては散米を村人が拾って持ち帰り、家の水神に撒いたりご飯に混ぜて炊いて食べたりした。 [国立劇場 第133回民俗芸能公演 春むかえ 田峯と西浦の田楽,2019] |  |  |

図3 地能「水な口」に関する「教え」の知識構造の記述結果(1990年代以降,一部抜粋)

表1 映像ファイルのメタデータの検討結果

|      | メタデータ          | 説明        | 参照元         | 例            |
|------|----------------|-----------|-------------|--------------|
| 基本情報 | 演目名[subject]   | 映像の演目名    | Dublin Core | 水な口          |
|      | ファイル名[title]   | 映像のファイル名  | Dublin Core | C5_16_水口.MP4 |
|      | ファイル形式[format] | 映像のファイル形式 | Dublin Core | MP4          |
|      | 撮影日[created]   | 撮影した年月日   | Dublin Core | 2019/2/23    |
|      | 撮影者名[creator]  | 撮影した人の氏名  | Dublin Core | 彦坂和里         |

表 2 演目のメタデータの検討結果

| メタデータ       | 説明              | 参照元                  | 例   |
|-------------|-----------------|----------------------|---|
| 基本情報        | 名称              | 演目の名称                | 共通語彙基盤 水な口                                    |
|             | よみ              | 演目の名称の読み方            | 独自 みなくち                                       |
|             | 種別              | 地能、はね能、番外            | 共通語彙基盤 地能                                     |
|             | 人数              | 演目で舞などを行う人数          | 共通語彙基盤 2                                      |
|             | 役               | 演目で登場する役の名称          | 独自 彌吉、盗人                                      |
|             | 担当能衆            | 演目を担当する能衆の屋号         | 独自 島地、梅平地                                     |
|             | 奉納順             | 奉納される順番              | 独自 16   |
|             | 奉納位置            | 奉納を行うおおよその位置         | 独自 楽堂前  |
|             | 情報源[source]     | 情報源                  | Dublin Core                                   |
|             | 備考              | 備考                   | 共通語彙基盤  |
| 能衆          | 家               | 能衆の屋号                | 独自 別当、上組能頭など                                  |
|             | 姓名              | 能衆の姓名                | 共通語彙基盤  |
|             | 情報源[source]     | 情報源                  | Dublin Core                                   |
|             | 備考              | 備考                   | 共通語彙基盤  |
| 身体的知識       | 所作の分節点          | 所作の分節となる地点の映像中の開始時間  | 独自 00:23:02:42                                |
|             | 所作              | 所作の内容                | 独自 後ろから盗人役が揉み手で一歩一歩忍び寄る。足運びに合わせて太鼓が打たれる       |
|             | 特徴              | 所作を行う上でのポイント         | 独自 7歩で近づく                                     |
|             | 情報源[source]     | 情報源                  | Dublin Core                                   |
|             | 備考              | 備考                   | 共通語彙基盤  |
| 論理的知識       | 名称              | 所作に付けられている名称         | 共通語彙基盤  |
|             | 意味              | 所作が持つ意味・解釈や言葉の意味     | 独自  |
|             | 情報源[source]     | 情報源                  | Dublin Core                                   |
|             | 備考              | 備考                   | 共通語彙基盤  |
| 意義的知識       | 由来              | 所作や言葉の由来             | 独自 所作の回数が奇数なのは修験道に由来する                        |
|             | エピソード           | 所作に関するエピソード          | 独自 かつては散米を村人が拾って持ち帰り、家の水神に撒いたりご飯に混ぜて炊いて食べたりした |
|             | 情報源[source]     | 情報源                  | Dublin Core                                   |
| 心的知識        | 祈願              | 演目の祈願内容              | 独自 豊作祈願                                       |
|             | 信仰              | 演目で信仰されていること         | 独自 妻つき〜君の舞までは豊作祈願の田遊びで、水な口は田の水口をまつる           |
|             | 情報源[source]     | 情報源                  | Dublin Core                                   |
|             | 備考              | 備考                   | 共通語彙基盤  |
| 衣装          | 名称              | 衣装の名称                | 共通語彙基盤 水干、烏帽子                                 |
|             | 説明              | 衣装の説明文               | 共通語彙基盤  |
|             | 素材              | 衣装の素材                | 独自 麻、??                                       |
|             | エピソード           | 衣装に関するエピソード          | 独自  |
|             | 画像              | 衣装の静止画像のURI          | 共通語彙基盤 画像URI                                  |
|             | 情報源[source]     | 情報源                  | Dublin Core                                   |
| 道具          | 備考              | 備考                   | 共通語彙基盤  |
|             | 名称              | 道具の名称                | 共通語彙基盤 太鼓、ござおり                                |
|             | 説明              | 道具の説明文               | 共通語彙基盤  |
|             | 素材              | 道具の素材                | 独自 ??、??                                      |
|             | エピソード           | 道具に関するエピソード          | 独自  |
|             | 画像              | 道具の画像のURI            | 共通語彙基盤 画像URI                                  |
|             | 情報源[source]     | 情報源                  | Dublin Core                                   |
| お面          | 備考              | 備考                   | 共通語彙基盤  |
|             | 名称              | お面の名称                | 共通語彙基盤  |
|             | 説明              | お面の説明                | 共通語彙基盤  |
|             | 製作年代            | お面が製作された年代           | 独自  |
|             | 製作者             | お面を製作した人             | 独自  |
|             | エピソード           | お面に関するエピソード          | 独自  |
|             | 画像              | お面の画像のURI            | 共通語彙基盤  |
| 情報源[source] | 情報源             | Dublin Core          |   |
| 役           | 備考              | 備考                   | 共通語彙基盤  |
|             | 名称              | 演目で登場する役の名称          | 共通語彙基盤  |
|             | 説明              | 役の説明文                | 共通語彙基盤  |
|             | 情報源[source]     | 情報源                  | Dublin Core                                   |
| 文献          | 備考              | 備考                   | 共通語彙基盤  |
|             | 名称              | 情報源となる文献名            | 共通語彙基盤  |
|             | 著者名             | 情報源となる文献の著者名         | 独自  |
|             | 出版社名[publisher] | 情報源となる文献の出版社名        | Dublin Core                                   |
|             | 発行年[issued]     | 情報源となる文献の発行年         | Dublin Core                                   |
|             | 調査年代            | 情報源となる文献内の調査が実施された年代 | 独自  |
| 調査          | 備考              | 備考                   | 共通語彙基盤  |
|             | 調査対象者名          | 調査された人の氏名            | 独自 守屋治次                                       |
|             | 調査実施者名          | 調査した人の氏名             | 独自 彦坂和里                                       |
|             | 調査年月日           | 調査した日付               | 独自 2019/2/3                                   |
|             | 住所              | 調査を実施した場所の住所         | 共通語彙基盤  |
|             | 地理座標            | 調査を実施した場所の緯度経度       | 共通語彙基盤  |
|             | メディア            | 調査時に記録した音声等のファイルのURI | 独自  |
| 正誤          | 備考              | 備考                   | 共通語彙基盤  |
|             | 正誤              | その情報の正誤              | 独自  |
|             | 誤りの内容           | その情報の誤り箇所と正しい情報      | 独自  |
| 情報源[source] | 正誤を裏付ける情報源      | Dublin Core          |   |